

山行申し込み、個人山行の届けは平井へお願いいたします。

携帯メールアドレス：tad-hira@ezweb.ne.jp または P C アド：izc00565@nifty.com

いわて生協山の会：2023 年 5 月の山行計画

山行日	行き先	難易度	参加費	参加〆切	備考
5/6(土)	白木峠	★☆☆☆	1,500 円	5/1	雪樁の山。人数が多ければ秋田県側へ縦走します。
5/14(日)	七ツ森	★☆☆☆	500 円	5/8	7 つの内いくつ登れるかな？
5/18(木)	東根山	★★☆☆	—	5/8	県連平日お花鑑賞山行。白いカクレも！
5/20(土)	秋田駒ヶ岳	★★☆☆	1,000 円	5/15	国見温泉～。どんな花に出会えるかな？
5/27(土)-28(日)	福島山	★★☆☆	15,000 円	5/10	大滝根山と吾妻連峰の山 3 つに登ります。

参加費は 5 人参加の場合の概算です。人数により変更あります。予めご了承ください。申し込みは平井へ

5-7 月の県外山行の計画

5/27(土)-28(日) 福島山：大滝根山・一切経山・東吾妻山を巡る

5/27(土)5:00 滝沢本部発⇒9:10 大滝根山～(歩行 2:40)⇒10:40 浄土平～吾妻小富士(歩行 1:15)
⇒浄土平キャンプ場(テント泊) *赤字は天元台の J ヲラリが 6/11 からのためコース変更

5/28(日)6:00 天場発⇒東吾妻山～一切経山～浄土平(歩行 3:15)⇒18:00 滝沢本部解散

参加費：¥15,000 集金(残金清算) 参加〆切：5/10

6/23(金)-25(日) 道南の二百名山を巡る：大千軒岳・恵山・狩場山・駒ヶ岳

6/22(木)19:00 滝沢本部発⇒青森港(フェリ-)23:30⇒3:20 函館港

6/23(金)3:30 函館発⇒大千軒岳登山口～(歩行 6:00)⇒恵山ツツジ公園(歩行 2:00)⇒函館(泊)

6/24(土)6:00 宿発⇒狩場山登山口～(歩行 5:30)⇒17:50 島牧村 YH(泊)

6/25(日)6:00 宿発⇒駒ヶ岳登山口～(歩行 2:00)⇒函館港(フェリ-)⇒青森港⇒20:25 滝沢本部解散

参加費：¥40,000 集金(残金清算) 参加〆切：6/10

7/13(木)-16(日) 関東と新潟の山：東麓の登山・仙の倉山・巻機山を駆ける

7/13(木)15:00 滝沢本部発⇒<高速道>途中仮眠⇒6:00 車坂峠登山口 *YH が閉館のため変更

7/14(金)6:00 登山口発⇒麓の登山(歩行 4:25)⇒黒斑山(歩行 3:00)⇒*インテリグ ト湯沢 (泊)

7/15(土)7:00 宿春⇒登山口 8:10～平標山・仙ノ倉山(歩行 7:15)⇒*インテリグ ト湯沢(連泊)

7/16(日)7:00 宿春⇒桜坂登山口～巻機山登山(歩行 7:45)⇒<高速道>⇒0:30 滝沢本部解散

参加費：¥25,000 集金(残金清算) 参加〆切：7/2

次回の例会は 2023/5/17(水) 18:30～ ベルツ青山 2F 会議室にて
6 月の会山行と 7-8 月の県外山行計画などについて話合います。

■3/18 (土) 国見山・珊瑚岳⇒参加希望が少ないため中止

参加予定 CL/金子・SL/平井 2名

■3/25 (土) 御月山

参加者 CL/金子・SL/平井・セツ子 3名

雪山も終わりに近づき天気も良いので参加です。本部(8:00)御月山へと出発です。(8:50)登山開始。雪解けが早いのか、来るのが遅かったのか、いつもと山の様子が違います。道迷いになったり竹の藪漕ぎをしたり、見た事の無い小川が流れていたり様々で、思いのほかストレスです。私はギブアップ気味になり休憩し、モグモグタイムでエネ



ルギー補給です。頂上は遠く1キロ先に臨めます。大変なので(11:30)下山です。リーダーと平井さんとヤママップと地図で進む方向を判断し、いつものゴルフ場に辿り着きました。そしてみずみずしいバツ採りをし、春の恵みをいただき(12:30)安比を後にしました。いつもは楽しい御月山ですが時期を外すと大変・・・でした。ありがとうございました。(セツ子)

■4/1 (土) 東根山

参加者 CL/金子・SL/平井・泉・中根 4名

去年12月に登って以来久しぶり、今年初めての東根山です。数日続いていた好天気で雪はもう少ないなあと思いつつも、私たち山の会は何の抵抗もなく全員長靴です。登山口から少し歩き始めると、広範囲に木が切り出され、周りが明るく切り開かれた景色にちょっとビックリです。去年の暮れ頃に行われていた治山ダム工事も終了していました。目の前に次々とカタクリの花(まだ蕾が多かった)やキクザキイチゲが白色や青色の愛らしい姿で、春の訪れを一番に彩って咲いていました。まだ木々は葉の蕾に膨らみがなく、木々の間から眼下に街並みを望むことができました。二ノ平・蛇石展望台を通り過ぎ、やがて見晴展望地が近づくと、上部にはいつもより少なめの残雪が覆っており、今日は春霞のせいか鳥海山を皆で探すも見えませんでした。ここに掲げてあった温度計、今日は8℃でした。この展望地



では親子連れや食事を楽しんでいる人等、何人かが暖かな日差しの中で休憩していました。私たちは「猫の背コース」を経由しながらの下山予定でしたので、展望地から三角点のある頂上に向け、残雪の上を歩き始める。丁度11:00に頂上に到着し、昼食休憩をとる。山頂から鍵掛け峠までは急な下りの連続のため、しっかりとロープが張られており、雪と転んだら泥まみれになりそうな道を、一步一步注意しながら下り、鍵掛け峠に吊るされていた炊飯ジャーの中釜で作られた鐘を鳴らして一呼吸する。ここからが長いこと長いこと！アップダウンを繰り返しながら12:55「後曲坂山」に着く。「ざんげ坂」からジグザグの下りが続くが、今日は穏やかな春の日差しに足下の枯葉の間から、踏み込むと同時に温まった空気と香りが漂い上がり、春の気配を充分に感じてしまう私でした。沢を渡って水分神社に着くと、水を汲みに来た人の車が何台か停まっておりました。13:



40 無事にケガもなく駐車場に着きました。今日も楽しい登山でした。ありがとうございました。(泉)

県連行事のご案内

2023 雪山交流山行

4/30(日) 栗駒山中央コース *8:30 イワカガミ平集合

6:00 本部出発⇒イワカガミ平 8:30 集合、出発 8:45～栗駒山頂 12:00～イワカガミ平 14:30⇒
17:00 本部解散 参加費：無料(県連活動費使用) 参加〆切：4/17

平日お花鑑賞山行

5/18(日) 東根山 *7:45 ラフランス登山口集合

8:00 出発～見晴展望地～山頂 11:30～見晴展望地(昼食) 12:15 下山～14:45 登山口解散

8月の県外山行の計画

8/4(金)-6(日) 双六岳から西鎌尾根・槍ヶ岳へ周回 *8/3(木)15:00 出発

8/4(金)7:00 新穂高温泉～小池新道～鏡平～(歩行 7:20)～14:40 双六小屋(泊)

8/5(土)7:00 双六小屋発～双六岳～西鎌尾根～(歩行 7:30)～15:10 槍ヶ岳山荘(泊)

8/6(日)6:30 小屋発～飛騨乗越～槍平小屋～(歩行 7:25)～新穂高温泉⇒0:15 本部解散

参加費：¥50,000 集金(残金清算) 参加〆切：7/20

■ 4/8 (土) 万寿山

参加者 CL/金子・SL/平井・伊藤・照井・中根・フク子・女鹿 7名

午前 8:00 本部出発。道々、桜の花が咲いていて、「今年はお花見が早くなるね」等、話しながら向かいました。前日の夕方から降っていた雨は夜半には上がり、今日は少し明るい曇り空。登山道のぬかるみが心配されたため、スパッツなどの備えをして、9:10 登山口発。上り始めすぐは、お目当てのオオミスミソウが見当たらず、心配しましたが、ありました！今年は花は小さめ、しかも曇りのためか花びらをすぼめ、満開の状態にはなかなか出会えず。ただ、登っていくうち、群生が見られるようになりました。まだ緑の少ない地面にパッと明るい、白く可憐な花はやっぱりいいですね。9:35、1 回目の休憩。セリバオウレンが散っていたので、花

の時期には間に合わなかったか、と思っていたら、咲いているところもありました。こちらも白くかわいらしく、「春だな～」とほのぼの。そのほか、ショウジョウバカマ、イワウチワもたくさん咲いていて、雨上がりのせいか、しっとりときれいに見えました。9:45、万寿山頂上の手前にある鉄塔に到着。ここから六郎山方面へ。「六郎山→」の表示板は、すぐそこに頂上があるような雰囲気でしたが、「もっとずっと先だよ」とのこと。しばらく歩き、10:15、次の鉄塔に到着。ここから六郎山頂上までは1時間40分ぐらいとのこと。タムシバの花が咲く登山道を歩き、途中、シュンランの花にも、いくつか出会うことができました。登りあり、少しぬかるんだ下りありで、11:50、六郎山頂上に到着。雨が心配されたため、休憩は10分程度で、12:00には下山開始。倒木が多くなり、道が陥没しているところもあって、慎重に歩きました。途中、分岐から、台温泉の奥のほうへ下りる道へ。登山口手前のオオミスミソウの群生地は、いつもより花が少なくなっていました。もしかすると、雨が雪どけ水で土が流され、一緒にいくつか押し流されてしまったのかもしれませんが。13:00登山口着。(照井)



←シュンラン ↑オオミスミソウ ↓六郎山の山頂で

